

## 団体の概要書

団体名	(ふりがな) とくていひえいりかつどうほうじん おおさかエヌピーオーセンター 特定非営利活動法人 大阪NPOセンター		
主たる事務所の所在地	〒553-0006 大阪市福島区吉野4-29-20 大阪NPOプラザ201号		
代表者氏名	(ふりがな) かない ひろみ 金井 宏実	構成員数	正会員 281人
設立(活動開始)年月	1996年 11月	NPO法人 認証年月	1999年 4月
主な活動地域	大阪府下、関西全域		
ホームページの有無	有 (URL <a href="http://www.osakanpo-center.com/">http://www.osakanpo-center.com/</a> ) / 無		
団体の設立経緯	大阪NPOセンターは、1995年大阪青年会議所がその設立を提唱しました。 「大阪市民団体の集い」を開催し、多くの市民団体が相互に補完しあいながら、個々の団体の活動効果を高め、さらに効率的な運営が行えるネットワークのあり方について検討しました。8月には企業、NPO、行政等の個人の有志の参加による大阪NPOセンター設立発起人会が結成され、センターの目的、担うべき役割や機能、そしてその運営について協議し、1996年11月21日の設立総会を経て設立されました。		
これまでの主な活動実績	大阪NPOセンターが設立され、昨年で10周年を迎えました。 この10年間、「OSAKA NPOアワード」「NPOたすけ隊」「NPO大学院講座」「認定NPOコンサルタント」「ジョブネットNPO」「各種マネジメント講座」等の自主事業や「NPO起業・就業科」「勤労者コラボレーションセンター」「分野別NPOコンサルティング事業」「NPOへのコンサルタント派遣事業」「コミュニティビジネスモデル事業」などの国・行政への提案事業を通して、様々な形態で長期的視野に立った人材育成、マネジメント支援、資金援助なども展開してきました。 なかでも、「OSAKA NPOアワード」は設立当初からの事業であり、各NPOが活動を紹介し合うことで、相互啓発を深めるとともに、奨励することで市民活動の促進に寄与してきました。また、「NPOたすけ隊」を設置し、専門家による市民団体へのきめ細やかな運営相談と指導を行っています。		
事業年度	1月 1日 から 12月 31日		
活動分野	※ 下表「活動分野別リスト」の番号をご記入ください。 17 (1~16の活動を行うNPOの運営支援)		

## 【活動分野別リスト】

1 保健・医療・福祉の増進	7 地域安全	13 科学技術振興
2 社会教育の推進	8 人権擁護・平和の推進	14 経済活動活性化
3 まちづくりの推進	9 国際協力	15 職業能力開発・雇用機会拡充
4 学術・文化・芸術・スポーツ振興	10 男女共同参画	16 消費者保護
5 環境保全	11 子どもの健全育成	17 市民活動支援
6 災害救助	12 情報化社会	

<p>貴団体の活動において、NPOならではの特性を活かしている点</p>	<p>NPO支援団体として、NPOの人材育成と基盤強化のための総合マネジメントを行っています。今年度より、新たな公共財・サービスの担い手であるCSOを支援することで、より地域社会の振興や持続的発展を目指します。具体的に、CSO（※）からの事業プランを募集し、助成や経営コンサルティングなどの支援を行っていきます。私達の活動を支持、支援してくださっている弁護士、会計士などの方々と連携し、問題解決と経営改善のための相談に応じています。</p> <p>※CSO（Civil Society Organization:市民社会組織）とは、市民の観点から自発的・公共的な活動を担いながら、社会変革を目指している団体を総称したものである、と当センターは定義しています。</p>
<p>貴団体の活動を多くの市民に周知するためにやっていること</p>	<p>大阪NPO通信「むすび」の発行、ホームページによる情報発信を通し、市民の活動への参加促進に取り組んでいます。また「OSAKA NPOアワード」などの表彰事業を行うことで、優秀なNPO団体を表彰し、活動を支援するとともに、注目を浴びることでより多くの市民にNPOの活動を理解してもらう為にセミナーやフォーラム、フェスティバル等を開催し、市民活動団体の連携を図っています。</p>
<p>貴団体の活動における現在の課題</p>	<p>NPO法設立から8年がたち、NPOも転換期にあります。今後は非営利団体にもマネジメントの強化や戦略的事業の展開、それを支える財政基盤が求められ、支援センターとしての役割も変わってきています。営利と非営利の垣根が低くなってきている今、サービスマインドを持つ「市民起業インキュベーター」としてCSO（市民社会組織）などの支援を行い、力あるNPOを育てる仕組みを作っていくことが、今後の課題です。</p>
<p>貴団体の活動の将来展望</p>	<p>上記のことをふまえ、今後、市民自身が新たな「公共の担い手」として、その志とパワーを武器に、多様で豊かな新しい公共サービスを提供し、底に暮らす人々が真の幸福を享受しうる市民社会を作るべく、NPOが他セクターとの連携ができるような活動を積極的に展開していきたいと考えます。また、市民やNPOがあらゆる社会分野に参画して、新しい視点で公共サービスを提供し得るための制度改善にも取り組んでいきたいと考えています。さらに、市民セクターのミッション・マネジメント・賃金の循環サイクルを構築していきます。</p>
<p>当基金に登録を希望する理由</p>	<p>当センターの事業を推進し、より多くのNPO団体に対してマネジメント支援、人材育成を実現し、今後の市民社会を担うNPOを育てていくため、また当センターがより事業拡大し、市民、企業と連携しうるネットワークの構築を展開していくためにも、大阪市民活動推進基金を希望致します。</p>
<p>貴団体が当基金をPRするためにできること</p>	<p>私共の運営するホームページ上において、大阪市民活動推進基金へのリンクを貼ることができます。また、私共の発行している広報誌でのPRが可能です。</p>
<p>市民に対するPR</p>	<p>※市民に向けPRメッセージをお書きください。</p> <p>私共が掲げる、「市民・行政・企業による市民社会の創造」というミッションを実現するためには、市民の皆様の協力が必要であり、大阪NPOセンターは今後さらに、市民主体の社会を作る支援組織として邁進してまいりますので、何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。</p>
<p>確認事項</p>	<p>この申請書に記載する事項に間違いありません。</p> <p>代表者氏名 金井 宏実</p> <p>(氏名自署の場合は印不要)</p>